

令和4年第2回山元町議会定例会 一般質問通告一覧

令和4年6月7日(火)・8日(水)・9日(木) 午前10時 開会

質問日	No.	通告者	件名	答弁者
6月7日 (火)	1	伊藤 貞悦	1 これからのまちづくりについて	町長 教育長
	2	菊地 康彦	1 今度の危機管理について 2 今後の支援のあり方について	町長 教育長
	3	渡邊千恵美	1 子育て支援策、及び移住定住促進対策について 2 町長の政治姿勢等について	町長
	4	高橋 建夫	1 町長の公約等について	町長
6月8日 (水)	5	高橋真理子	1 公共施設の利活用について 2 東北地方太平洋沖地震(日本海溝・千島海溝地震含む)における危機管理対策について	町長 教育長
	6	竹内 和彦	1 坂元地区の豪雨水害対策について 2 太陽光発電について	町長
	7	岩佐 秀一	1 町政を刷新することについて 2 新市街地への一極集中からの脱却について 3 安心・安全対策について	町長
	8	大和 晴美	1 給水スポットについて 2 マイナンバーカードの取得推進について	町長 教育長

質問日	No.	通告者	件名	答弁者
6月9日 (木)	9	遠藤 龍之	1 町民バス等公共交通機関の充実について 2 高齢者福祉施策について 3 スポーツ・レクリエーション複合施設整備事業の取り組みについて	町長
	10	岩佐 孝子	1 安全・安心して暮らせるまちづくりについて 2 今後のまちづくりについて	町長 教育長

(10人 20件)

通告番号	1	1番 伊藤 貞悦 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 これからのまちづくりについて</p> <p>(1) 公約に掲げた豪雨水害対策最優先について以下のことを伺う。</p> <p>ア 構想や計画の具体的な対策（排水対策を促進・強化する考えなのか）について。</p> <p>イ 費用捻出（予算計画や年次計画等）について。</p> <p>(2) 子育て世代に対する継続的・効果的な支援について以下のことを伺う。</p> <p>ア 小学校の「統廃合計画」の方向性と進め方について。</p> <p>イ 小中学生・幼稚園・保育所の給食費・副食費の無償化について具体的な方策を伺う。</p> <p>ウ その他新たな支援策を導入する考えはないか。</p> <p>(3) 少子化対策にどのような施策を構築し臨む考えなのか具体的な方策を伺う。</p> <p>ア 移住・定住をより推進するため、我が町独自の新たな施策を推進する考えはないか。</p> <p>イ 空き地・空き家の活用については、特に花釜・作田山・太陽ニュータウン等を、我が町独自の移住定住施策エリアとして利活用し推進する考えはないか。</p> <p>(4) 旧坂元中学校の施設や跡地の利活用について。</p> <p>ア 体育館や文化センターとして利活用する考えはないか。</p> <p>イ 子育て支援関連施設を含む複合施設として利活用する考えはないか。</p> <p>(5) 公共交通（町民バスやデマンドタクシー）の早急な改善について。</p> <p>ア 高齢者や運転免許証返納者が、日々の生活に困らないような運行時刻や路線の再編成をはじめ、各種サービスを刷新する考えはないか。</p> <p>イ 児童生徒の通学用と病院通院用等に分離し、利用しやすく工夫する考えはないか。</p>	<p>町 長</p> <p>教育長</p>

通告番号	2	11番 菊地 康彦 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 今後の危機管理について</p> <p>我が町は、東日本大震災により未曾有の被害を受け、多くの人命や財産等を失った。あれから早11年が過ぎ、今後、太平洋側には約1.2倍の浸水面積となる巨大地震の発生が予想されている。その中で、町はどの様な危機管理体制を考えるのか。</p> <p>また、小中学校等の危機管理体制は大丈夫か。</p> <p>(1) 小中学校の避難体制や、避難マニュアル・危機管理体制は十分か。</p> <p>(2) 保育所の避難体制や、避難における問題点は無いか。</p> <p>(3) 津波防災区域に居住の方の、避難体制や避難マニュアルの見直しは。</p> <p>(4) 津波防災区域の見直しは行うのか。</p>	<p>町 長 教育長</p>
<p>2 今後の支援のあり方について</p> <p>町の重要課題である人口減少対策や、移住・定住対策について様々な施策を講じてきたが、今後、基幹産業を担う後継者や、津波防災区域の住民に対し、安心のできる支援のあり方をどの様に考えるか。</p> <p>(1) 農漁業の後継者に対し、今後、基幹産業を維持するための支援は考えられないか。</p> <p>(2) 遊休農地への対策と、活用に対し支援の考えはあるのか。</p> <p>(3) 第1種、及び第2種津波防災区域に居住の方への支援は考えているのか。</p>	<p>町 長</p>

通告番号	3	5番 渡邊 千恵美 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 子育て支援策、及び移住定住促進対策について</p> <p>(1) 本町は、震災後、特に「子育てするなら山元町」「住むならやっぱり山元町」のキャッチフレーズのもと、様々な我が町独自の子育て支援や移住定住促進対策を講じてきた。          今後も、これまで実施してきた子育て支援や移住定住促進対策事業を継続する考えなのか。それとも、すべて刷新する考えなのか。</p> <p>(2) こどもセンターについて          ア 0歳から18歳までの子どもと保護者が、いつでも気軽に足を運び交流のできる拠点として、更なる整備が必要だと考えるが町長の考えを伺う。          イ 児童館は、中・高校生の来館が皆無と思われるが、その対策について伺う。          ウ 一時保育の場の提供は、いつまで継続するのか。</p>	町 長
<p>2 町長の政治姿勢等について</p> <p>(1) 基本的な政治姿勢等について          ア 我が国では政党政治が行われているが、地方自治体である町のリーダーとして、また政治家として求められる大事な姿勢、視座を伺う。          イ これからの町政運営への抱負を伺う。</p>	町 長

通告番号	4	12番 高橋 建夫 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 町長の公約等について</p> <p>創造的復興完遂を目前に控えた段階に就任された町長の公約には、新市街地への一極集中から脱却して、町全体を豊かに発展させる必要性や、町政を刷新して福祉を充実することが謳われている。</p> <p>しかし、誰しも経験したことのない未曾有の災害からの復旧・復興は、人口減少・少子高齢化社会の到来と震災前からの諸課題解決も踏まえ、長期にわたる都市計画的発想を大事にしたまちづくりが肝要であり、手順と段階に応じた優先事項をしっかりと見極めた取り組みが求められる。</p> <p>(1) 町政推進のバイブルである「第6次山元町総合計画」は、震災後に策定された「第5次山元町総合計画」を兼ねた「山元町震災復興計画」を経て見直しが行われ、今年度で計画期間10年の約半分となる4年目を迎えるが、町政刷新の立場から総合計画の見直しに取り組む考えはあるのか所見を伺う。</p> <p>(2) 教育委員会が2度にわたり町民代表の声を集約して方針を決めた「小学校再編」に関して、統廃合計画は改めて検討するとしたが、教育に関する教育委員会に対して、町長部局の立場をわきまえた考えなのか伺う。</p> <p>(3) 宮城病院への包括支援センター外部委託の見直しや、坂元地区への保育所再建、危機管理部署整備を掲げているが、町行政が直接行う業務範囲をどのように捉えているか。</p> <p>危機管理部署の強化は別にしても、全ては職員定数や人件費と密接な関係を有しており、安易に取り組むべきではないと考えるが見解を伺う。</p> <p>また、救急医療や小児健診をはじめ、包括支援センターや事業所内保育事業等で、多くの協力をいただいている宮城病院の持続的な存続との関係をどのように考えているか。</p> <p>(4) パークゴルフ場を核とした「スポ・レク複合施設」の基本計画が策定され、町として最終的な方向性を判断することが求められているが、民間活力をとり入れた大規模な施設整備案は現実性に欠け、パークゴルフ場を核に健康増進、交流や触れあい機能を付加した整備案が現実的であり身の丈に合ったものと思慮される。</p> <p>多くのパークゴルフ愛好者や町民からの陳情の重みやコミュニティスポーツであるパークゴルフを活用した地域活性化踏まえ、賢明な判断をすべきと考えるが見解を伺う。</p> <p>(5) 公共工事の入札検証に取り組むとしているが、何を検証し、何に取り組むのか具体的に示されたい。</p> <p>また、地元企業のみだけを優遇するための指名基準等の変更は町の裁量権の逸脱・乱用にあたらぬか。</p> <p>(6) 町の活性化、人口減少対策には働く場・雇用の捻出が重要政策と思うが、公約に「地場産業育成の課題解決に向けネットワークを構築」とあるが具体的な見解と「企業誘致」についての取り組みについて伺う。</p>	<p>町 長</p>

通告番号	5	6番 高橋 眞理子 議員
------	---	--------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 公共施設の利活用について</p> <p>公共施設の利活用は、観光・交流人口拡大や移住・定住の推進等、多様な課題の改善策と捉える。以下のことについて伺う。</p> <p>(1) 旧坂元中学校施設の活用について、次のような施設を取り入れた複合施設計画に着手する考えはないか。</p> <p>ア 日本語学校施設  イ テレワークやシェアオフィス施設  ウ 誰もが垣根を越えて楽しく過ごせる交流の場  エ 工作教室や各種イベント等の多目的ホール</p> <p>(2) 深山山麓少年の森拡張・改修事業において、現在のBMXコースを大会開催可能な規模に改修する考えはないか。</p> <p>(3) ひだまりホールやおもだか館の活用を上げるため、フリースペースなどにコワーキングスペースを設置する考えはないか。</p>	<p>町 長 教育長</p>
<p>2 東北地方太平洋沖地震（日本海溝・千島海溝地震含む）における危機管理対策について</p> <p>(1) 県が発表した津波浸水想定により、避難計画等に多くの計画の見直しが必要と考える。以下のことについて伺う。</p> <p>ア 町民への説明会は、どのような規模・単位で、いつ頃開催予定なのか。  イ ハザードマップ・タイムラインを見直す考えはないか。  ウ 現状の避難路で十分対応できると考えているか。  エ 車避難に向け、効果的な運用と駐車場の確保を新たに検討する考えはないか。  オ 避難所の追加や変更の検討、及び備蓄品を見直す考えはないか。  カ 避難訓練を見直す考えはないか。</p> <p>(2) 職員や関係機関、学校教育で地域と協力し、防災や避難態勢を考えることは人材育成へ繋がることから、防災に特化したイベント等を実施することによって、「自助」「共助」「公助」の意識の醸成を図る考えはないか。</p>	<p>町 長 教育長</p>

通告番号	6	7番 竹内 和彦 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 坂元地区の豪雨水害対策について</p> <p>(1) 谷地川の排水対策は、これまで度々対策が講じられてきたが、未だ解決に至っていない。 今後どう対策を進めて行く考えなのか。</p> <p>(2) 中浜滝の前線は第3線堤として整備計画されている。しかし、豪雨の際、この地域一帯が湖となるのが常、そこに第3線堤が整備されれば水の流れが止められ、水害がこれまでより拡大する恐れがある。これについてどう考えているのか。</p> <p>(3) 坂元駅東側の調整池は役割を果たせていると考えているのか。</p>	町 長
<p>2 太陽光発電について</p> <p>(1) 町内各地に太陽光発電が多く設置されている。これからは更に増えていくと思われる。 先般、町内の地区住民から太陽光発電に関する条例制定の請願が出されている。町は、今後、太陽光発電にどのように関わっていく考えなのか。</p>	町 長



通告番号	7	3番 岩佐 秀一 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 町政を刷新することについて 刷新とは、弊害を除き去って、全く新しいものにすることである。 以下の点について伺う。</p> <p>(1) 町政の何を、何処を、刷新する考えなのか。</p> <p>(2) 刷新することにより、町民や職員にどのようなメリットがあるのか。</p>	町 長
<p>2 新市街地への一極集中からの脱却について 沿岸部や丘通りを含め、町全体を豊かに発展させると考えていることについて。以下の点について伺う。</p> <p>(1) 沿岸部については、避難道路や営農関係の整備を一定程度推進しているが、丘通りの開発をどのように進める考えなのか。</p> <p>(2) 山元南インターチェンジ周辺の開発を検討する考えはないか。現時点で想定できる具体的な計画案などは示せるのか。</p> <p>(3) 発展させるための財源は何を活用するのか。</p>	町 長
<p>3 安心・安全対策について 近年、地震・豪雨災害が多発するなかで、防災対策の更なる充実について以下の点について伺う。</p> <p>(1) 避難場所を丘通りの高台に新たに設置する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	8	4番 大和 晴美 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 給水スポットについて</p> <p>(1) 熱中症の予防やペットボトルの削減のため、公共施設にボトル給水型を併設した給水機の設置を進める考えはないか。</p> <p>(2) 現在、ひだまりホールに設置されている直接水を飲むタイプの冷水機をマイボトルに水を汲むことのできるボトル給水型水飲み栓へ更新する考えはないか。</p>	町 長
<p>2 マイナンバーカードの取得推進について</p> <p>(1) 町内の取得者数の状況をどのようにとらえているか。</p> <p>(2) 職員に対する取得促進や出張窓口の推進など、マイナンバーカード普及への取り組みを強化する考えはないか。</p> <p>(3) 町独自の自治体マイナポイント事業を実施する考えはないか。</p>	町 長

通告番号	9	8番 遠藤 龍之 議員
------	---	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 町民バス等公共交通機関の充実について 町民バス、デマンドタクシーの運行改善、今議会提案の一般会計補正予算では、今後の町民バス運行の在り方を調査・検討するための地域公共交通計画の策定経費を計上しているが、これまでの取り組みをどう認識しているか、また今後の取り組みは。</p>	町 長
<p>2 高齢者福祉施策について</p> <p>(1) 高齢者緊急通報システム事業の現状の取り組みをどう捉えているのか。また、現状を踏まえ、今後どのように取り組んでいく考えなのか。</p> <p>(2) 補聴器助成の考えはないか。</p> <p>(3) 一人暮らし等の対策は十分か。</p>	町 長
<p>3 スポーツ・レクリエーション複合施設整備事業の取り組みについて 町がこれまで進めてきた、多額の財源を要するパークゴルフ場を含む複合施設の整備計画については、他に取り組むべき事業との優先順位を見極めるなど、新たな視点での検証が必要であると、しているが、取り組みの遅れや整備調査結果をどう受け止めているか。 また整備調査結果を受けての今後の取り組みは。</p>	町 長

通告番号	10	9番 岩佐 孝子 議員
------	----	-------------

質 問 内 容	答 弁 者
<p>1 安全・安心して暮らせるまちづくりについて 地震・豪雨災害などの災害が多くなっているなか、住民が安全・安心して暮らしていくための対策等について伺う。</p> <p>(1) 東日本大震災を教訓にし、未整備である避難道路等の早期実現に向けて取り組む考えはないか。</p> <p>(2) 町長が示す「豪雨災害に対する抜本的対策を計画・推進」の方針について伺う。</p> <p>(3) 東日本大震災後において津波防災区域とされた地区に、当時、居住されていた方々に対する生活支援金の支給額を平等にするため、今後、差額支給を実施する考えはないか。</p> <p>(4) 頻繁に発生する地震・台風・豪雨などに対処するため、強力なる防災対策を図るために新たな部署を設置する考えはないか。</p>	町 長
<p>2 今後のまちづくりについて 町内には公共施設・用地や人材、歴史・文化、自然、食材など多くの地域資源がある。これらの地域資源等をいかした施策・事業展開について伺う。</p> <p>(1) 東部地区の未利用地の利活用について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 元坂元中学校跡地の未利用地の利活用についての考えは。</p> <p>(3) 磯区から牛橋区までの海岸には、町外からも多くのサーファーが来訪している。海岸沿いの避難丘公園周辺の再整備や、海岸からの避難時に利用されるであろう新たに整備された防風林内や、海岸から旧県道まで通じる未舗装道路等を早急かつ恒常的に補修整備をしていく考えは。</p> <p>(4) 施設利用をする際に、情報収集、発信していくためのツールとして通信網を整備するとともに、申請者のID登録を行い、情報発信や利用料納付等、及びオンラインによる利用状況の確認や予約の手続きなど、利用しやすい環境を整備する考えはないか。</p> <p>(5) 移住定住促進事業において、一定の成果が出ているが、移住はしてきたものの、働く場所が無いとの声が聞こえる。地域おこし協力隊の力を使って雇用を創出し、地域活性化につなげる方策について伺う。</p>	町 長 教育長